



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報



## 意識を喚起し 進んで行動を

2000～2001年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリー財団月間

第666回 平成12年11月 8日(水)

〔本日のプログラム〕

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. 点         | 鐘         |
| 2. ロータリーソング  |           |
|              | 「手に手つないで」 |
| 3. 食         | 事         |
| 4. 会 長 の 時 間 |           |
| 5. 幹 事 報 告   |           |
| 6. 委 員 会 報 告 |           |
| 7. 会 員 卓 話   |           |
|              | 吉田康一郎君    |
| 8. 点         | 鐘         |

次 回 予 告

★11月15日(水)

職 場 訪 問

( 県工業技術センター)

★11月22日(水)

会 員 卓 話

垂水敏雄君

理 事 ・ 役 員 会

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日 (12:30~13:30)	会 長	梶田與之助
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	吉田康一郎
事務局	宮崎郡佐土原町大字下瀬河3887-17	幹 事	宮原 建樹
	☎880-0212	会 計	後藤 明夫
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員	池田 仁志

## 第665回例会記録

(2000. 11. 1)

### ☆会長の時間

会長 梶田 與之助 君

皆様、今日は

本日は第665回の例会です。

延び延びになりましたが、本日の例会は佐土原ロータリークラブの創立記念プログラムです。

創立当初のことに関しては、先々週の例会で吉田副会長よりお話をしておりますので、割愛させていただきます。尚、創立時のチャーターメンバーであります、山脇プログラム委員長より、当時のことについて、後程、お話をお聞かせ頂きたいと存じます。

本年度のGSE（フィンランドより）につきましては、11月7日（火）に「新神田橋」での歓迎会に私と宮原幹事、濱田RI財団委員長の3名で出席したいと思っております。

次年度のGSEは、尾崎ガバナー補佐より、宮崎東RCと佐土原RCで、ホームステイをお願いしたいとの要請がありました。その節は宜しくとのことでした。

GSEとは一口で言いますと「職業研修」だそうです。

フィンランド国について資料がありましたので、ご紹介したいと思います。

フィンランドはスカンジナビア半島の東側に位置し、東はロシアのカレリア半島に接する国で、面積は約34万km<sup>2</sup>、人口は約520万人、国土の68%が森林、11%が湿地、10%が湖沼の森と湖の国です。

ヘルシンキ等南部の各都市は、1917年に独立するまで支配下にあったロシアやスウェーデンの影響が色濃く残り、重厚な建築郡と広い公園が印象的だそうです。

初夏には公園や家々の窓が色とりどりの花に飾られ、また福祉や社会政策が充実しているため、ゴミの処置や浮浪者等が見られないこともあり、清潔で落ち着いた国だそうです。国土は北緯60~70度にまたがり、日本と比べて極めて高緯度に位置し、ヘルシンキの平均気温は1月-6℃、7月が約18℃で7月が最も気温が高い時期で、雨の日には15℃以下まで下がり肌寒い位だそうです。日照時間は1月で5時間、7月は約19時間であり、7月には午後10時を過ぎても日が沈まず、夜中でも完全には暗くならないということです。（白夜）

農業面では、耕地率は8%、耕地面積は約2万8千haで、国土の約9%弱です。バトル海に面する南部は比較的温暖で、短い夏には大麦、エン麦、春小麦等が作付され、また面積的には少ないがイチゴ類や各種の野菜、花卉類等が栽培されています。中北部は穀物生産には適さないため、畜産（乳牛、豚等）が主体で、飼料生産に利用される耕地の割合が60~90%に及んでいます。ノルウェイと接する北極圏の最北地域は農業生産には適していません。農業は他のヨーロッパ諸国同様、歴史的に家族経営で、現在でも半数余りは10ha以下の農場で50ha以上の農場は全体の5%程度に過ぎません。耕地可能期が短く、土地の生産性に限度があることを考慮すると農業経営は決して楽ではないと思われ、農業就業人口は年々減少しています。日本と同様に自給率が低く、輸入超過になっています。

# 職業奉仕委員会より

委員長 垂水敏雄君

11月15日(水)の例会は職場訪問になっています。

職場訪問は、先ず会員の事業所を対象に行き、次に地域内の企業へと範囲を広げていくのが恒例ですが、本年度予定しておりました『中原真二会員の事業所でありますジェ・イー・エス(株)工場』が、設備の更新整備のため12月まで訪問受け入れはできなくなりましたので、協議の結果、今回は『宮崎県工業技術センター』に変更させていただきました。

同センターは、宮崎市に在った宮崎工業試験場を、平成10年12月1日に佐土原町大字東上那珂の宮崎テクノリサーチパーク内に新設移転したものです。

宮崎県食品開発センターも同時期に新設移転されています。

同センターは、県内工業技術の振興を図るために、『中小企業の技術開発・技術力の向上を支援する公設試験研究機関として、研究開発・技術指導・依頼分析等の業務』を行っています。

## ★11月15日(水)の日程

できるだけ12:20までに同センターの正面入り口にご集合ください。

例会場は2階会議室です。

1. 点 鐘 12:30
2. 食 事
3. 会長の時間
4. 幹事報告
5. 委員会報告
6. 点 鐘 12:55

センター案内主管者入室 13:00

◇梶田会長挨拶

◇センター概要説明

◇センター内見学 14:30 までには終了

## [資源環境部]

- 有用土壌環境微生物の調査・採取及び環境浄化修復に活用する研究
- 無機系廃棄物を有効に利用する研究
- 木炭等の県産資源の高度利用の研究
- 有機系排水、廃棄物の処理試験研究
- 無機系排水、廃棄物の処理試験研究

## [材料開発部]

- 高機能材料の開発と応用に関する研究
- 複合材料の開発と応用に関する研究
- 膜分離技術の高度化に関する研究
- 膜乳化技術の応用技術に関する研究
- 分析技術の高度化に関する研究
- SPG (Shirasu Porous Glass) 応用技術に関する研究

## [機械電子・デザイン部]

- 電子及び情報技術に関する研究
- 自動化技術に関する研究
- ロボット技術、エネルギー技術等を応用した機械システムの開発及び評価技術に関する試験研究
- 機械加工及び精密測定技術に関する試験研究
- 金属加工及び評価技術に関する試験研究
- 工業デザインに関する研究開発

また、工芸支場では、杉を中心とした県産材の利用促進のため、木材の構造的利用、木材の長期耐力評価や強度等材質評価、木材改質等の研究を行っている。

現在は農林業国から、先進工業国へと成長し、ハイテク建築、工業・商業デザインの分野で大きな発展を遂げ、経済活動の1/4を貿易が占め、紙・パルプ製品、金属機械などの工業製品の半分を輸出しているそうです。

## ☆幹事報告

幹事 宮原 建樹 君

### 1. 例会変更通知

①11月13日(月)の例会は『GSE 歓迎連合例会』のため、

日時 11月15日(水) 12:30~  
場所 はまぐり荘 \_\_\_\_\_ に変更  
日向 RC

②11月14日(火)の例会は『GSE 歓迎連合例会』のため、

日時 11月15日(水) 12:30~  
場所 はまぐり荘 \_\_\_\_\_ に変更  
日向東RC

③11月23日(木)の例会は「勤労感謝の日」のため、休会

高鍋 RC

④11月14日(火)の例会は『GSE 歓迎例会』のため、例会場変更

西都 RC

2. 地区青少年交換委員会より、2001年の高校留学生募集要項の文書が来ております。

詳細について、お知りになりたい方は事務所か、私に問い合わせ下さい。

## ☆出席報告

委員長 郡司 武俊 君

会 員 数	28名
例会出席者	22名
出席率	79%
メーカーアップ者数	3名
修正出席率	89%
欠席者名	結、加、帆

## ☆RYLA委員会

RYLA委員 伊東 忠寛 君

### 委員会報告

1. 第23回 鹿児島中部分区青少年指導者研修会に参加して

10月21日(土) 観霧島自然ふれあいセンターで開催されたRYLAに出席しました。

テーマは『21世紀に行動と責任を...』で、参加者は研修生46名(男16名、好20名)ロータリアン50名で開催されました。

開会式後、14時から16時まで、地区ライラ委員会(10名)に参加しました

### ①研修プログラム

別途恒吉新世代委員長へ提出。

### ②予算

地区委員会の予算の範囲内で計画されている。

### ③RYLAプログラム日程表

佐土原RCがホストを務める『第24回 宮崎県中部分区青少年指導者養成研修会』の作業日程表を作成したので、準備委員会の参考にさせていただきたい。

# RYLAプログラム日程表

H12. 10

## 1 名称

国際ロータリー第2730地区  
第24回 宮崎県中部分区青少年指導者養成研修会

## 2 開催日・場所

(1) 2001年 5月26日(土) 27日(日)

(2) 佐土原町営国民保養センター 国民宿舎 『石崎浜荘』

## 3 実施計画作業日程(案)

日 程	作 業 内 容
2000 12月	○実行委員会設置 ○日程・日時・場所の決定 ○情報収集 ○予算計画の作成
2001 1月	○テーマ・プログラム作成。 ○参加対象者(クラブ)及び案内状発送対象者の選考。 *ガバナー。ガバナー補佐。カウンセラー。新世代 委員長。ライラ地区委員長及び地区委員(10名) 地区内クラブ。次年度ホストクラブ。
2001 2月	○講師の決定及び要請。 ○案内状作成及び発送。
3月	○出席者一次確認。プログラム補修
4月	○申し込み締切り(下旬) ○任務付与
5月	○出席者確認。資器材準備(看板・名札・資料ほか) ○会場設営・準備確認 ○当日

## 佐土原ロータリークラブの創立記念日に当たって

山脇 忍

佐土原ロータリークラブ創立記念の卓話を依頼されていましたが、諸種の事情でのびのびになってしまいました。誠に申し訳なく思っています。

過去2回同様な卓話を求められ、いずれのときも、私の勝手な発想でポール・ハリスの伝記やロータリーの創設にまつわる話題を取り上げさせていただきました。今回は会員の中にもご希望がありましたので、佐土原ロータリークラブ創立前後の話題を取り挙げさせていただき、事に致しました。皆さんにお渡ししましたコピーを一読していただければ、概ねご理解いただけるものと思いますが、若干説明を加えさせていただきます。

尚、私の写真入りで挨拶状（チャーターナイト時の）がつづられており、甚だ恐縮しておりますが、これで発足当時の佐土原 RC の運営方針をおくみ取りいただければ、幸甚に存じます。次に昭和62年10月16日の創立総会のプログラムを掲載しました。これが第一回の例会ということになります。

その次が第2回例会週報で、ただ1枚のみの週報です。このような1枚だけの週報が第10例会まで続きました。第11回例会になり、初めて現在のような内容豊富な立派な週報ができたのであります。これは偏に垂水会報委員長のご造詣の深さと努力によるもので、現在の卓越した週報の基礎を築いたのであります。

参考までに全部掲載させていただきました。皆様ご覧のように現在の週報と見劣りしない素晴らしい内容のあるものになっているものと思います。特に今はなき園山謙二先生の音楽に関する崇高な卓話は再びお聞きすることのできないものとなってしまいました。

尚コピー全般にわたっては後ほど興味のある方はごゆっくりお読みください。

最後にお願ひであります。創立15周年までに“佐土原 RC15周年のあゆみ”を是非完成させたいと思います。そのためには多くの作業と資金が必要です。できるだけ早くそのための準備委員会の結成をお願いします。

2000・11・1